

令和7年度 第5回梅坪台地域会議 会議録

■ 日 時 令和7年9月9日（火） 午後7時～午後8時30分

■ 場 所 梅坪台交流館 2階 大会議室

■ 出席者

＜委 員＞	岩崎 洋平	岩松 初男	川井 圭子
	鈴木 重久（京町区長）	鎮西 和也	長江 秀昭
	三岡 英隆	山村 史子	依田 武人
＜梅坪台区長＞	東梅坪町区長 杉山健章	梅坪町区長 岩松利尚	上原区長 田中清治
＜交流館＞	杉山 浩子（梅坪台交流館 館長）		
＜事務局＞	杉浦 智文（地域交流課 課長）	塚田 征弘（地域交流課 副課長）	
	槌井 功二（地域交流課 担当長）	勝野 一城（地域交流課 主査）	
	山下 慎介（地域交流課 会任）		

■ 内 容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告・協議事項
（2）地区コミュニティ会議関係について（報告）
- 4 連絡事項

■ 議事内容（要約）

- 2 あいさつ
 - ・鈴木会長あいさつ
 - ・石川市議会議員あいさつ
- 3 （1）区長会との意見交換（ヒアリング）について（協議）
 - ①「子どもと地域とのつながり」について
 - ※課題の共通認識
 - ②「地域課題の解決策（案）」について
- （2）地区コミュニティ会議関係について（報告）

＜主な意見＞

- ・事務局から意見交換の進め方の説明
- ・事務局からこれまでの経緯の説明

テーマ1「子どもと地域のつながり」について

（東梅坪町区長）

- ・地域と子どもつながりは、とても必要で、地域と顔見知りになっておくことで将来の地域活動

にも大きな効果がある。

- ・東梅坪町は3つあった子ども会が1つになって、地域と子どものつながりは希薄だと感じている。子ども会を通じて情報発信していたが、子ども会が減り、地域活動への協力呼びかけも難しくなっている。地域の情報が子どもには伝わりにくいと感じている。
- ・自治区ごとに状況が異なるので一律にやるのではなく、やれている子ども会はそのままだともらい、やれていないところはつなぐ会が運営していけばよいと思う。いろいろな子ども会行事のある中で、どこも実施する新入生歓迎会、クリスマス会はつなぐ会でしてもらえれば、子ども会の役員の負担も減るのではないかな。

(梅坪町区長)

- ・3つの子ども会が活動しており、つながりが希薄になったとは全く感じていない。それよりも親のつながりの方が希薄で、子ども会については、心配していない。
- ・梅坪町は、各子ども会が子どもの居場所づくりを実施していて、区民会館に専用の場所がある。定期的に集まりも行っているの、それほど希薄さは感じていない。
- ・梅坪町は、3つ子ども会があり1年で役員が変わるところは困ってる。2つの子ども会は会長が長いので割と上手くいっている。自分の子どもがいるうちは続けたいと言ってもらっているが、その後どうなるかはわからない。
- ・地域が肩代わりしてやるようになると今活動している子ども会は潰れると思う。やる必要がなくなるから。
- ・要するに今、子どもの数が減っている少子化という事ではないか。それが影響している。

(上原区長)

- ・将来をこの地区を担っていただくにはつながりはもちろん必要だと思うが、それほど希薄になってきているとは感じていない。それよりも親の方がつながりが薄くなったと感じており、子どもを見て親が誰かわからない。そこを何とかしていくのが子ども会で、親が集まって顔を合わせる必要があると思う。
- ・別組織でやると子ども会は無くなると思う。保護者は小学校にいるうちに何か一つ役をやらないといけないという義務感があって子ども会をやっているという話だった。子ども会はその義務感で持ちこたえており、別組織ができると無くなってしまうと思う。今は、お母さん方が忙しくなって大変だと思うが、子ども会がなくなってしまう懸念がある。義務で成り立っているという点は問題だが、それに頼ってでも子ども会が必要である。
- ・規模としては、今ある子ども会ぐらいの単位が地域のつながりとしてはベストだと思う。町ではなく言い換えると通学団単位、毎日、朝、同じ顔を見るくらいがつながりとしてはベスト。隣の顔が見えるくらいの範囲がいい。

(京町区長)

- ・京町は、2年前に自治区で子ども会を立ち上げた。「次の役員がいないのでやれませんか」と相談があった。それはまずいという事になり、自治区で子ども会運営することにした。そのことによってこれまで子ども会に入っていなかった子どもも加入しているので、成功ではないかと思っている。

○地域会議委員意見

- ・女性活躍、共働きの風潮の世の中で、昔のように家に専業主婦でいて、活動できるお母さんが

いない。習い事も多くて子ども親も忙しくなっている。今、手を打たなければ、今後、子ども会が減るのは目に見えている。

- ・子ども会の会長が長くやっているところは上手くいっているが、次に役員が変わるときのバトンタッチが難しいと思う。
- ・保護者頼みでなく地域で支援してはどうかというのが地域会議の今の協議の考え。どの自治区もつながりは重要と認識しているが、自治区ごとにつながりの状況は異なっている。ただ、今は困っていないという自治区も将来も安泰かということそうではないと思う。
- ・子ども会が3つ残っていて担い手がいるのは非常にうらやましいが、加入率は60%、40%、30%のところもある。地域の半分かくらいの子どもたちは居場所がなく、希薄と言えると思う。自分が区長の時に子ども会が3つから一つになってしまった。他の自治区もそんなことにならないようにしたい。
- ・意見交換会をするにあたって、子ども会がしっかり運営できている自治区もあれば、そうではない自治区もあって、各自治区に差がある。やれるところはやらしてもらえばいいが、8番にある子ども会加入者に限らず梅坪台地区に住む全ての子どもと方針が書いてあるので、実施できないところはつなぐ会で運営してもらえばいいのではないかな。一つに決めなければいけないのか。
- ・自治区毎に考え方、状況は異なるので、対応も異なっているのではないかな。
- ・子ども会の活動を取ってしまうのはまずいと思うが、会を作って子ども会のバックボーンとして後ろ盾としての活動を検討するといいいのではないかな。減少傾向にある部分を区、地域がサポートするとよい。

○そのほか意見

- ・市民意識調査で、自治区・地域活動への参加状況「よく参加している」の市の平均は、20.2%、梅坪台は5.6%で、ダントツの最下位。実際の近所づきあいについての設問で、「普段からの近所づきあいがある」では、市の平均17.8%、梅坪は5.6%。困ったことがあれば協力し合うが市の平均19.6%、梅坪が11.2%しかない。豊田市の地区内でダントツの最下位で、その次が浄水地区。このような状況も参考にしてほしい。

テーマ2「地域課題の解決策（案）」について

○自治区長意見

（東梅坪町区長）

- ・頭が整理できませんが、現状の課題は何でしょう、子どもと地域をつなぐ会がその課題を解決することになるのか。子ども会が減少しているのは、何が問題なのか。地域で企画して新入生歓迎会、クリスマス会など子ども会に加入していない子が参加できないなど不利益にならないように考える必要があるということか。

（梅坪町区長）

- ・2年間、地域のために考えてきていただいたこと、地域の子どものことを考えていただいていることは、それは非常に感謝している。ただ、自治区にこれ以上あまり負担をかけないでほしい。構想は立派だが、梅坪台の規模にするのか自治区の規模にするのか通学団の規模にするのか設定は難しいと思うが、やれることはどんどんやってほしい。協力できることは協力

するが、区長が変われば考えも変わるかもしれない。

(上原区長)

- ・クリスマス会とか歓迎会は副の部分で、運動会、お祭りに大勢の子どもたちが来てくれるのが一番だと思う。正直、自治区が子どもたちに情報を発信するのは、難しくて子ども会頼りになっている。それも役員の負担になっていると思うが、自治区はお願いするしかない。
- ・別の見方で、区民の方から子どもたちへアプローチがいると思う。組長さんから子どもたちに声かけ、あいさつをするようにお願いしている。これが重要なことだと思っており、紹介させていただきました。

○地域会議委員意見

- ・つながりを強化するための解決策の第一案としてつなぐ会構想の協議、検討を進めてきた。既存の子ども会をないがしろにするつもりもありません。尊重していきたい。役員の負担軽減、地域学校共働本部が事務局となって支援を進めたいと思う。
- ・子ども会の必要性を子ども自身が感じていないとは考えていません。親の都合で子ども会に参加させない、クリスマス会に行けないという事は残念だと思う。そこを解消したいと考えている。
- ・子ども会の会長さんたちと昨年ヒアリングさせてもらった際に、区の役員を受けるよりも子ども会の役員を受ける方の分母が少ないのでより難しい状況であった。地域会議で1年、2年話し合ってきて絶対何かやりたいということではないが、何かしら対応しないといけないと思っている。
- ・今ある子ども会を存続させたいのが議論の原点。ただ、子ども会の加入率が半分以下の時に、全体の子どもの考えないといけないという議論になった。参加できない理由として、役員・企画運営が大変と聞いた。地域のお祭り、運動会は地域ごとにやり方や方法が異なるので、それぞれやっていただくべき。つなぐ会の入口のところで全体を拾うと、子ども会への誘導もできて子ども会の参加率が上がり存続につながるのではないか。
- ・もう一つは、子どもを使って親の地域活動への参加率を上げるということ。若い夫婦は、地域活動を知らない。地域活動の入口が子ども会活動だと思う。
- ・今後の方向性としては、子どものために地域のためにここで育ってよかった、いい地域だと思ってもらえるようにしないといけない。これらの意見を参考に、今後、子ども会へのヒアリングをしていきたい。

(2) 地区コミュニティ会議関係について（報告）

- ・青少年育成委員会、福祉健康部会の健康サロン、広報委員会、ふれあい祭り等について報告

4 連絡事項

- ・地域学校共働本部がつなぐ会の事務局を実施すること、施設・備品活用、子どもたちへのアンケート等について、学校長の了解を得た。また、イベントに児童がかかわるようにしてほしい、PTAも組織図に入れるとともに説明の機会を設けてほしい、と意見をいただいた。
- ・区長さんと違って学校は強く地域とのつながりを意識している。

- ・10月16日子ども会の調整状況について、3部で意見交換会を行う。可能な範囲で参加いただきたい。
- ・現在一期目の地域会議委員は継続意向を確認させていただきたく、確認シートを提出してほしい。

■ 今後の予定

令和7年度 第6回梅坪台地域会議

10月14日（火）午後7時00分～

10月16日（木）未定 ～ 梅坪小学校交流館大会議室にて